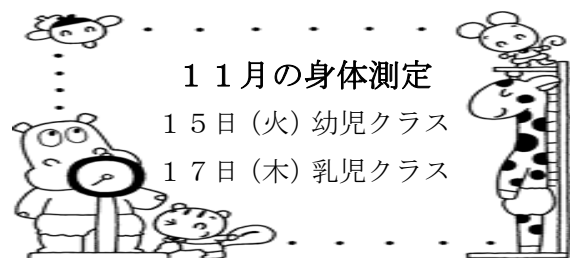




ほけんだより

平成23年11月1日
あゆみ保育園
園長 江郷茂男

朝晩冷え込むようになり、一層秋が深まってきました。あゆみ保育園では、子供達が毎日秋の景色を楽しみながらお散歩に出掛けています。紅葉がきれいで葉っぱを拾うのも楽しいですね。インフルエンザや、ノロウイルスも心配な時期ですが、体調を崩さないように気を付けていきましょう。



11月の身体測定

15日(火) 幼児クラス

17日(木) 乳児クラス

<10月の感染症>

溶連菌感染症 幼児 2名

マイコプラズマ肺炎 幼児 1名

ぎょう虫検査のお知らせ

11月17(木)にぎょう虫検査のピンテープを配布いたします。提出日締切日は、11月22(火)です。

提出日は厳守して頂こう、よろしくお願い申し上げます。

朝起きてすぐ、排尿・排便の前に行うようにしてください。

～保育園での吐物、便の取り扱いについてのお願い～

ノロウイルスなど感染性胃腸炎の流行する時期になってきました。園内で嘔吐するケースが増えてきます。感染拡大を防ぐためにも、下記の内容にご理解とご協力を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

- 1) 吐物や便で汚れた衣類、おむつカバーなどは洗わずにビニール袋に入れご家庭にお返しします。
- 2) 汚れものを持ち帰った際、お子様が感染症にかかっていることが疑われる場合は家庭内での感染を防ぐため消毒を行ってください。

①はじめにマスク、ビニール手袋をつける。

②水洗いをしてから、0.02%次亜塩素酸ナトリウムで30分以上つけ置きし、他のものと分けて洗う。洗い場はよく洗浄する。

<0.02%次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方>

①2Lのペットボトルを用意する。

②家庭用塩素系漂白剤5%(ハイターなど)をペットボトルのキャップ2杯分入れる

③水道水を2L入れてうすめる。

インフルエンザの予防接種が始まっています

今年もインフルエンザの流行する時期になってきました。

10月1日から予防接種が各医療機関で実施されています。罹患した場合の重症化を防ぐためにもできるだけ接種することをおすすめします。

～インフルエンザ～

- ・感染経路…飛沫感染、接触感染、くしゃみや咳は約2mも飛び散ることが確認されています。
- ・症状…鼻腔や喉などの気道感染から始まります。潜伏期間は1～2日。急激な発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状から始まり、同時かやや遅れて鼻汁、咳嗽などの呼吸器症状があらわれます。熱は39～40℃のことが多く、3～5日程度持続します。
- ・治療…抗ウィルス薬があり、インフルエンザ流行時には診断後速やかに内服をはじめることがすすめられています。

インフルエンザは発熱する24時間前から感染力を持ち、解熱後も48時間は排菌し続けるといわれています。潜伏期間は1～7日です。インフルエンザにかかった方と接触した場合は、十分注意しましょう。

<インフルエンザに罹った時…登園時の注意>

「解熱後3日を経過してから」登園可能となります。解熱した当日はカウントしません。あゆみ保育園では、厚生労働省のガイドラインに沿った体制をとっておりますので、御協力宜しくお願い致します。

だいじょうぶ？ 鼻水・鼻づまり

鼻水や鼻づまりをほうっておくと、鼻やのどの粘膜が炎症を起こし、ほかの病気の原因になることもあります。鼻水・鼻づまりが気になったら、早めに病院を受診しましょう。そして家庭では、鼻水が出たらふく、鼻がつまったらかむ、という生活習慣が身につくよう、繰り返し伝えていきましょう。



やけどをしたら…

冬はやけどの事故が増える時期。万が一、やけどをしてしまったら、とにかく流水で冷やすこと。その後、症状によって病院で診てもらいましょう。アロエやみそを塗るなど、民間療法でよいといわれていることを安易に試すのは、やめましょう。細菌感染の原因になることがあり、症状を悪化させ、長引かせてしまいます。

